

令和7年度 土木学会中国支部 行事報告

○令和7年度中国支部研究発表会

令和7年6月14日（土）、第77回（令和7年度）土木学会中国支部研究発表会が、徳山工業高等専門学校にて開催しました。第I部門～第VII部門で計28セッション、発表件数としては、197件の研究発表がありました。若手優秀発表者の審査に対して、司会者（座長）と幹事会のメンバーを中心とした第2審査員の2名体制で審査をし、28名選考をし、当日徳山高専にて表彰いたしました。



また、官公庁企業展示では、18団体が参加して、展示各社を回るとスタンプがもらえるポイントラリーを実施して、ペットボトル飲料を配布し、盛況のうちに終了いたしました。

○広島県の土木建築局長と話してみよう！

土木学会と広島県の連携により、若手技術者の交流と、技術者としての活力・技術力の向上を目的として令和7年10月7日、広島県庁にて開催実施しました。

学生や企業の若手技術者11名が集まり、藤田士郎広島県土木建築局長にインタビューをしました。普段話せる機会のない局長との意見交換会は大変有意義でしたし、業種の垣根を超えて、土木建築に関わる方々とお話する機会は非常に良かったと参加者は話していました。その後、広島県議会議場を視察し、若手技術者同士の交流会もあり参加者は有意義な時間を過ごしました。



○夏休み土木実験教室

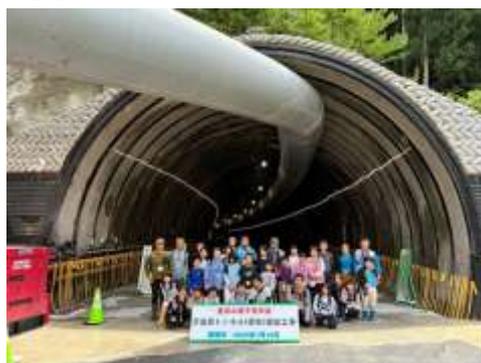
令和7年8月1日、呉ポートピアパーク 陶芸室にて、夏休み土木実験教室を開催しました。幹事会の高専・地整・建設業・コンサル等を中心にスタッフを募り、35名の小学生を対象に、コンクリートを作成する指導をいたしました。参加者が作成したコンクリートは、夏休みの自由研究として持ち帰りました。



○夏休み親子見学会

家の近くの工事だけど、関係者以外は中には入れないという工事現場。さらに、トンネル工事だとさらに謎に秘めたところである。普段では見られない大型の車を見て、触れて、試乗してみよう！とのタイトルで広報しました。

令和7年7月19日、広島市佐伯区湯来町にある、天皇原トンネル工事を、親子16組が参加して、夏休み親子見学会を行いました。工事概要の説明のあと、参加者は500m先にある切羽へ向かいました。途中、トンネル工事に使う大型機械を見ながら進み、切羽では、ドリルジャンボによる掘削の実演を見学し、初めてみる工事技術に驚いた様子でした。その後、高所作業車の試乗体験をしてトンネルの上部まで見ました。参加者は、実際に岩にさわったり、高所を見ることができました。一番すごかったのは、トンネルの行き止まりを見ることができてよい思い出になりましたと、感想を話していました。



○どぼくカフェ&土木ツアー

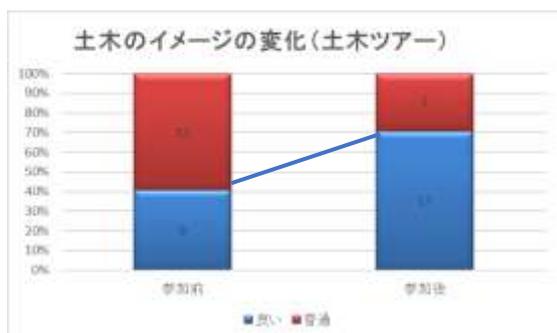
令和7年7月26日(土)に、鳥取県倉吉市にて「どぼくカフェ&土木ツアー」を実施しました。第1部は、京都大学の高橋良和先生から“大きな機械が活躍するドボクの世界!”と題して、世界のいろいろな働く重機についてお話を聞きました。その後、「海中トンネルの作り方」や、「大きい重機たちは、どうやって現場までくるのか」など、参加者から寄せられた土木の不思議な疑問について高橋先生が回答し、お話が大変おもしろく勉強になったと、話していました。



第2部は、山陰道の北条ジャンクション(仮称)を見学しました。ヘルメットやハーネスを装着して高所作業車に乗り、青空の元、北条ジャンクションの全景を堪能し、ボルトの締め付け体験や、四足歩行ロボットを操作して最新の技術に驚いた様子でした。道路を作っているという仕事に誇りや情熱を持って日々作業されていることが伝わってきましたと、参加者は話していました。



見学会を終了した後に、土木のイメージの変化について聞いたところ、約3割の方が良くなったと回答しました。実際に見て体験することで効果があったと思われます。

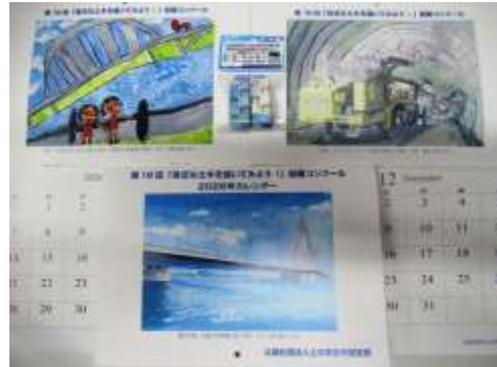


○第18回「身近な土木を描いてみよう!」図画コンクール

令和7年10月1日、広島市立牛田小学校体育館にて、小中学校の図画工作専門の校長先生・教頭先生3名と、土木学会の産学官の関係者7名で、審査会が行われました。最初に校長先生が一次審査を行い、選ばれた作品を並べて、挙手により数の多いものが入賞としました。中国地方各地の小中学生から応募された688枚を体育館いっぱいに広げて審査を行い、優秀賞13点と佳作50点を選考しました。



入賞された中には、親子見学会の参加者で切羽前のジャンボトリルが力強く描かれたものや、姉妹で大きな宇品橋を見ている様子を描いたものや、澄み渡った青空に映える芦田川大橋を繊細なタッチで描かれているものなどがあり素晴らしい作品でした。



優秀賞の作品を掲載した2026年のカレンダーを作成し、優秀者へ副賞として進呈したほか、応募者全員に記念品としてカドケン(消しゴム)を配布いたしました。

また、広島、岡山、鳥取、島根で優秀賞の表彰式を実施し入賞作品の展示は、上記他土木学会本部や山口でも行いました。

